

目黒の学び舎から



聖契神学校ニュースレター No.4 2004年5月20日発行 発行人 関野祐二
〒153-0061 東京都目黒区中目黒 5-17-8 聖契神学校(東横線祐天寺駅、JR 目黒駅下車)
電話 03-3712-8746 FAX 03-3712-8804 郵便振替口座 00190-1-85761 「聖契神学校」

主の聖名を讃美いたします。

いつも聖契神学校のため、お祈りとご支援をいただき、ありがとうございます。

2004年度の神学校授業も、4月1日の入学式から始まって早一カ月半。新入生方もそろそろ学校に慣れ、学びに身が入りつつある時期です。と同時に学びをこなす大変さを実感する頃(肉の努力を諦める頃?)。脱落することなく、学びを完走してほしいと心から祈り、願う毎日です。それは、各々が救いのわざを完成するプロセスの一部でもありましょう。

「あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださることを私は堅く信じているのです。」(ピロ 1:6)

校長 関野祐二

● 入学式、歓迎会、交わり会、そして

入学式の様子は7月中旬発行の神学校ニュースにゆずるとして、約70名の出席者は式後、学生会主催の歓迎会へと食堂に移動しました。事前準備をする中、女子寮のF姉より「歓迎会の食事アレンジを任せてください」との申し出があり、嬉しくお願いしたこの日、見事な手作り料理の数々が18名の新入生とご家族、教会の方々、そして在校生や教師を迎えました。私事恐縮ですが、写真道楽の私は20年来の念願叶って魚眼レンズを中古で入手し、この場が使い初め。料理テーブルをぐるり囲んだ立食形式で、皆が賛美し交わりを持つ光景を一望に収め、大満足でした。神学校ニュースに掲載予定ですので、乞うご期待。皆がひとつになって新入生を歓迎し、共に学べる喜びを共有する一体感、こういう写真を撮りたかったのです。

4月24日土曜日午後は、新入生歓迎交わり会。またまた手作り料理、そして賛美とゲーム。クラスで居合わせた教会史の丸山先生と解釈学の私は、学生たちの手中に落ちて伝言ゲームやら目隠し鬼叩きやらに駆り出され、ヘトヘト。その場を仕切っていたU兄は、確か聴講編入新入生のはずでしたが、古株のようにその場を盛り上げてくれました。「募集中です」との自己紹介がけっこうあったので、祈りの課題が増えました。

5月24日、御茶ノ水で同窓会講演会が催されている頃、東村山市の東京聖書学院グラウンドでは、神学校対抗ソフトボール大会が行われます。聖契からも10名弱が堂々参加予定。このレターがお手元に届く頃、その結果が出ていることでしょうか。前述の丸山先生は学生に混じって出場するそう。小学校時代、のび太よろしく万年9番ライトだった私はお呼びでなし。親善試合とは名ばかりの果たし合い(?)ですが、聖契らしいさわやかさをアピールしてほしいものです。

お呼びがかかったのは、7月19日の学生リトリート。「校長が参加したらリトリートになりませんよ」と言いつつも、交わりに加えてもらえるのは嬉しいことです。交わりについて学ぶのですが、堅いこと言わずに交わりを楽しみたいです。場所は御殿場。もちろん望遠鏡持参で出かけるつもりです。苦手な温泉も付き合いますよ。

● 前期クラスとチャペル礼拝

予想はしていたのですが、火曜午前の旧約通論、金曜夜の新約通論は各々14名の大所帯となりました。机と椅子を足した第一教室は満杯。最後列まで声を届かせるには腹に力が要ります。新入生の緊張を解きほぐしつつ、専門的な学びへといざなうのは容易ではありません。毎回の小テストとレポート採点は週明けの重労働（課している手前、弱音は吐けず）。でも、この往復書簡が始まってからは互いの距離も縮まり、レポート内容も格段に進歩してきました。月曜夜のキリスト教教育（杉本師）は上級生10名。英語テキストに苦心しつつ、毎回の演習で盛り上がっています。火曜午前の宣教学（小川師）は休講の都合で朝7時から集中講義が続いています。疲れ知らずの小川先生！ 火曜夜の比較宗教（勝本師）は5名の学生も含め熟年男性クラス。木曜午前は群馬から始発で通う篠原先生の組織神学4名クラスと、牧会カウンセリング（井上師）10名。クラスの感想を毎回書き、教師と握手する光景にほっとします。夜はギリシャ語（赤星師）クラス11名。共同自主勉強で空き時間復習に励む学生たちもちらほら。金曜午前はヘブル語（本多師）6名。こちら毎回30分前からスタート。きっと読めるようになりますよ。夜はキリスト教倫理（小山田師）の専門科4名クラス。新約通論向かいのクラスで笑い声度々。土曜午前は教会史（丸山師）12名の大所帯。「私自身が一番恵まれてます」とは教師の弁。同時間に私の聖書解釈学は8名。聖書解釈講解レポートをめぐるディスカッションは真剣（徹夜明けふらふら？）。

さて、昨年度のチャペル礼拝担当は新入生を外したのですが、今年は思うところあって証しとショートメッセージをお願いすることにしました。準備の仕方をプリントで配布し、5月連休明けからいざスタート。ふだんは主にクラス学生参加のチャペル礼拝も、この時ばかりは寮生の面々が応援(?)に駆けつけます。よく準備された証しとメッセージは新鮮で、心動かされるものばかり。これで学びと訓練が加われば、豊かに深みと洞察の増したメッセージになること間違いなし。教師や先輩学生もうかうかしてられません。終わった学生のさわやかな表情が印象的です。

● メンテナンスはもぐら叩き？

入学式も終了し、やれやれと迎えた週末の朝、鍵開けのため校舎内を回って教員室に入ったら雨が降っています。階上の排水管が漏れて天井水浸し。これを皮切りに蛍光灯ユニット半田付けやら、水道パッキン修理やら、これでもかと襲いかかるメンテナンスの嵐。実は現在もまだ続いています。長年使ってきた建物がそういう時期を迎えているのでしょうか。おかげで水道電気、網戸張替えなど多分野の作業に熟達してきました。「賜物がありますね」と言われますが、必要に迫られやっているだけのこと。そういえば教会でもこうだったと歩みを振り返りました。多額の経費がかかる補修が起ころぬよう祈るばかりです。最小コストで有効なメンテナンスを行うための、豊かな知恵と良い業者が備えられるようお祈りください。併せてご支援もよろしく申し上げます。

● 聖契神学校の予定と祈りの課題

- ・ 新入生18名を含む、在校生44名の前期学びが支えられるように。学生と教師の健康、霊性、教会奉仕、家族や働きが守られるように。校長と事務員のためにもお祈り下さい。
- ・ 6月15日教師会、22日理事会、7月19日学生リトリートの準備と祝福のため。神学校が学びの充実と教師研鑽、交わりと霊的成長、運営等の各面で支えられるように。
- ・ 今年度の学生募集準備のため。諸教会との交わりが深まり、支援が拡大するように。